

フレクリーン 天井取付タイプ JE4-L/M/S

取扱説明書 (施工者様用)

施主様の使用希望場所又は、設計仕様に準じて取付け場所をご確認ください。付属品の壁付フックの取付け位置も同様をお願い致します。
注)本製品は浴室や屋外等、湿度の高くなる場所では使用できません。

⚠ 警告

この表示は、誤ると「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- 取付けに際しては、適切な場所・躯体側の強度を検討の上落下事故防止のため、十分な取付け強度が確保できるように施工してください。尚、天井材の厚み等を考慮し、取付け部品の選択を十分検討して施工してください。

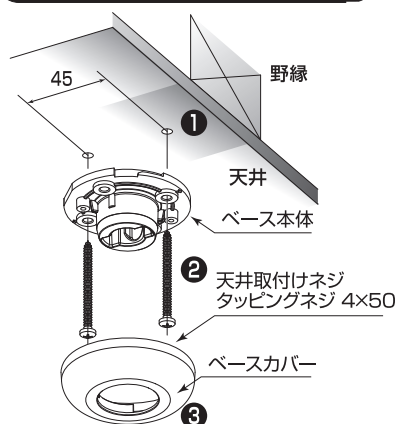
⚠ 注意

この表示は、誤ると「傷を負うか又は、物的障害の可能性が想定される」内容です。

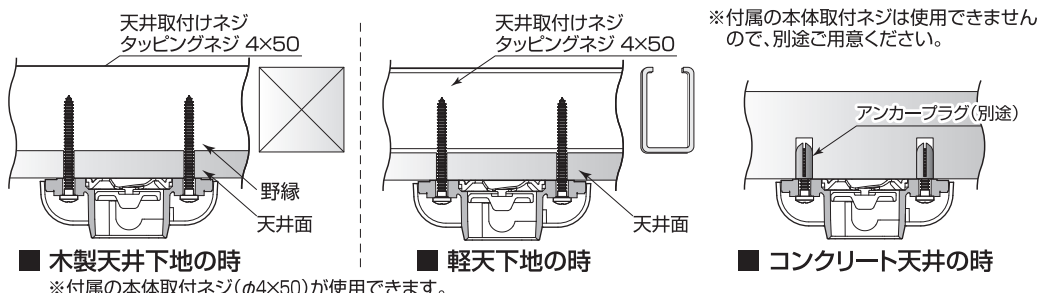
- 非常口・避難ハッチ等の妨げにならない場所に取付けてください。
- 取付け金物は家庭用ですので、物干し以外の用途には使用しないでください。

■ 取付け説明

ベース取付け



躯体別取付図



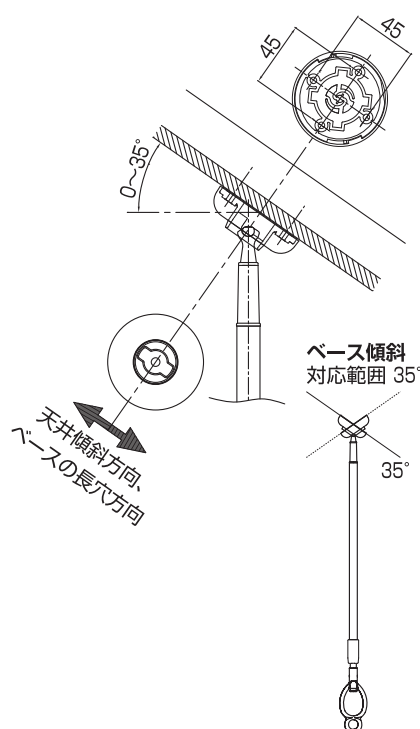
- 1 天井の仕様を確認してください。
- 2 ドライバーでご家庭の天井に適切なファスナー類でベースを取付けてください。
- 3 ベースをしっかりと固定できたら付属のベースカバーを取付けてください。

⚠ 注意

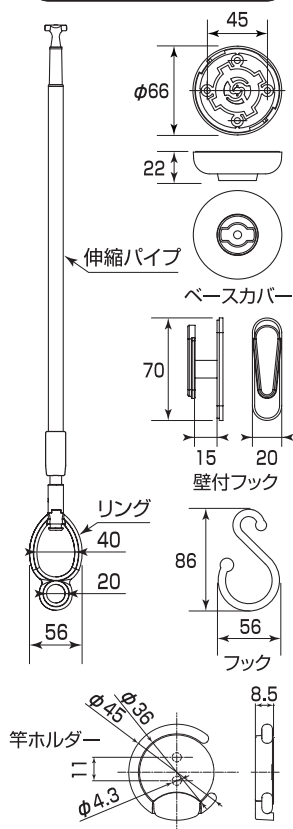
電動工具のみでの施工はやめてください。必ず、ネジ類の締め終わり手前で止めて最後は、手回し工具でネジの締め具合を確認しながら、取付けを行ってください。天井下地が、軽天やコンクリートの場合の設置は、専門業者に相談・依頼をしてください。

天井が傾斜時の取付方法

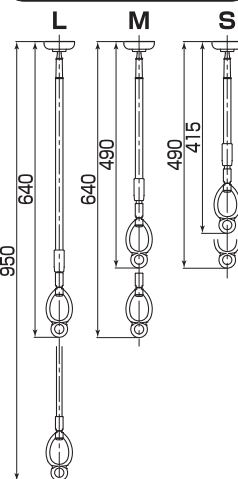
天井の傾斜方向とベースの長穴の方向を合わせ、躯体へ取付ける。



部品寸法図



基本納まり寸法図



■ 梱包明細

名 称	員 数
ベース本体	1
ベースカバー	1
パイプSET	1
天井取付けネジ タッピングネジ 4×50	2
壁付フック	1
壁付フック用取付けネジ タッピングネジ 4×16	2
フック	1
竿ホルダー	1
竿ホルダー用取付けネジ タッピングネジ 4×16	2

■ 製品仕様

寸 法	ベース外径	φ66
	全長	L : 640-950mm M : 490-640mm S : 415-490mm
材 質	ベース(本体・カバー)	ABS樹脂
	ジョイントグリップ	ポリアセタール
	スプリングカバー	ポリエチレン
	パイプ	アルミ
	リング	ABS樹脂
	フック	ABS樹脂
性 能	表示耐荷重	8kg
	付属品	壁付フック / 壁付フック用取付けネジ フック 竿ホルダー / 竿ホルダー用取付けネジ

フレクリーン 天井取付タイプ JE4-L/M/S

取扱説明書 (お客様用)

この度は、お買上げ頂き有難うございました。
ご使用前に、この取扱説明書を是非ご一読頂きますようお願いいたします。
お読みになった後は、紛失されないように保管してください。

⚠ 警告

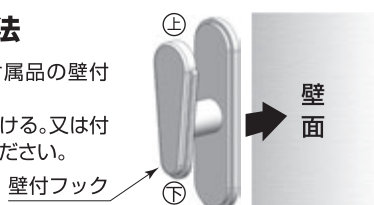
この表示は、誤ると「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- 本品の下でストーブ等、火気のある物を絶対に置かないでください。
製品が落下もしくは、吊り下げているものに引火して、火災の恐れがあります。
- 火災やケガ・落下破損の防止のため、以下の物は絶対に吊り下げないでください。
 - ランタン・ロウソク等の火気・発熱のある物
 - 人が当たるとケガの恐れのある物
 - 割れ物や落下すると危険な物

表示耐荷重：8kg

■ 壁付フックのご利用方法

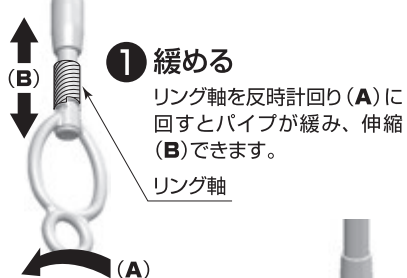
伸縮パイプを使わない時は、付属品の壁付フックをご利用ください。
裏面の両面テープで壁面に貼付け。又は付属のネジで壁に固定してご利用ください。



■ 操作方法

伸縮パイプの長さ調整方法

パイプ伸縮調整は必ずベース本体から外して行なってください。



② 締める

長さ調整後、リング軸を時計回り (C) に止まるまでしっかりと締めきり、回らなくなるよう固定させます。

注 意：
パイプは伸縮ができますが、左図のように赤いラインが出た長さで調整をお止めください。

赤いライン

伸縮パイプの着脱方法

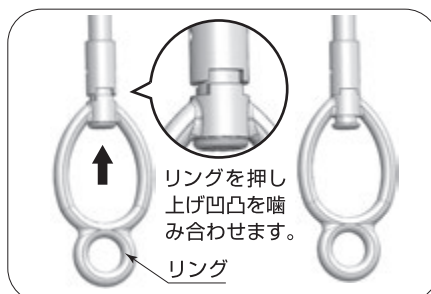
取り付け方

- ① 伸縮パイプの先端を垂直にベースの穴に差し込む。
- ② 軽く押し込んで時計回りに 90 度程、回転させる。
- ③ 伸縮パイプを軽く動かし、確実にベースにはまっていることを確認する。

取り外し方

- ① 伸縮パイプをベースに軽く押し込んで反時計回りに 90 度回転させる。
- ② 伸縮パイプ先端をベースから引き抜く。

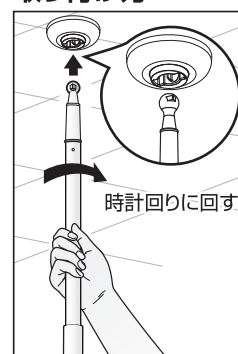
リングを持って着脱をする場合は、下図のようにリングを噛みあわせた状態で行ってください。



フックの利用方法

吊り下げができない場合は、付属品のフックを右図のようにリングに取付けてご利用ください。

取り付け方



取り外し方



竿ホルダーの利用方法

竿を外し、竿を壁に立かけておく時は、付属品の竿ホルダーをご利用ください。

